

## 奨学事業に関するよくあるご質問 (FAQ)

### 1. 奨学生の資格等について

お問い合わせ	財団よりの回答
スポーツ学科の所属ではないが	スポーツを積極的に行っていれば学部学科は不問です。
専攻するスポーツ種目において、自他ともに認める力量とは	ここ数年、各種目とも全国大会上位入賞レベルの合格者が多くなっています。
スポーツ競技種目の制限は	ジュニア育成奨学生とエリート奨学生があり、下記に記載の通りとなります。 <b>【ジュニア育成奨学生】</b> 全てのスポーツ競技が対象となります。 <b>【エリート奨学生】</b> バドミントン・テニス・ソフトテニス競技者で、(公財)日本協会・連盟のナショナルアンダーの認定者となります。
進学先が未定の場合(主に中高3年生)、申請は可能か	予約奨学生として申請を受け付けます。給与決定後、進学ができなかった場合は、給与を取り消すこととなりますのでご了承ください。
対象となる年齢は	<b>【ジュニア育成奨学生】</b> 申請年度の4月2日時点で、満10歳以上満30歳未満となります。 <b>【エリート奨学生】</b> 申請年度の4月2日時点で、満10歳以上満18歳以下となります。
プロを目指していますが申請は可能ですか	可能です。 但しアマチュアスポーツを対象としており、プロフェッショナル資格認定及び企業とのスポンサー契約となった時点で、奨学生の対象から除外となり、支給した奨学金を返金していただきます。
エリート奨学生は何故スポーツ競技が限定されているのですか	当財団創設者の米山稔の遺志に沿い、テニス・バドミントン競技でのオリンピック・世界大会でのメダリストを育成する目的と限られた資金の中で競技を絞り新設しました。
指導者を目指す為の進学を予定している場合、申請は可能か	可能です。但し、スポーツを継続して積極的に行うことが前提です。
2年目以降の申請は可能か	可能です。給与期間は1年ですので、毎年申請が必要です。
在学期間について	(主に留学生及び最終学年生の場合) 4月から翌年3月まで在学することを条件とします。
日本人の海外留学生の申請は可能か	可能です。
他の奨学金との併願は可能か	可能です。申請書2枚目に詳細をご記入ください。
学外のスポーツクラブ等で活動しているが申請は可能か	学校長及び所属クラブ等の指導者からの推薦書を揃えて申請ください。
対象期間内で10歳になるのですが申請可能か	申請年度の4月2日時点で満10歳以上の方が対象となります。

## 2. 奨学金給与金額について

お問い合わせ	財団よりの回答
金額について	<p>概ね下記のとおりですが、奨学生の数により金額が変わる場合もあります。給与期間中に変更になることはありません。但し、エリート奨学生は、財団が定めた経費項目以外に使用した場合や未使用の金額がある場合は、財団に返金して頂きます。</p> <p><b>【ジュニア育成奨学生】</b></p> <p>①高校生以下：月額4万円(年48万円)以内 ※満10歳以上満18歳以下</p> <p>②大学生以上：月額5万円(年60万円)以内 ※満18歳以上満30歳未満</p> <p><b>【エリート奨学生】</b></p> <p>①小学生：月額10万円(年120万円)以内 ※満10歳以上</p> <p>②中学生：月額20万円(年240万円)以内</p> <p>③高校生：月額30万円(年360万円)以内 ※満18歳以下</p>
高校2年で中退し専門学校に入学した場合の金額について	17歳で高校を中退し18歳で専門学校1年生の場合は、高校生以下が適用になり、2年生以上(19歳以上)は、大学生以上の適用となります。
給与方法について	給与決定者に書類を郵送しますので必要事項をご記入のうえ返信いただいた後、年2回(4月及び10月予定)に分けて指定の口座に振り込みます。

## 3. 申請手続について

お問い合わせ	財団よりの回答
指導者の推薦文について	審査は原則的には書類審査のみとなります。クラブ・団体等の指導者からの推薦文があると、申請者のプロフィールがより明確になると思われます。必ず提出してください。
公財)日本バドミントン協会・日本テニス協会・日本ソフトテニス連盟推薦書について	エリート奨学生は、指定の推薦書にて各協会・連盟よりナショナルアンダーの認定を受けてください。
推薦文の様式について	指定の推薦書にご記入の上、提出してください。
論文について	区分の指導者枠に申請される大学生・大学院生は、必ず提出してください。
スポーツに関する主な経歴とは	<p><b>【ジュニア育成奨学生】</b> 現在活動中の競技について、年月を西暦にて明記の上、過去2年以内の戦績を記入してください。</p> <p><b>【エリート奨学生】</b> 現在活動中の競技について、年月を西暦にて明記の上、過去2年以内の国際大会・全日本クラスの大会戦績を記入してください。</p>
申請書の提出は個人か学校経由か	どちらでも可能です。
学校単位で申請人数の制限はあるか	高等学校5名程度、大学または大学院10名程度でご申請ください。

#### 4. その他

お問い合わせ	財団よりの回答
返還義務について	<p>給与された奨学金につきまして返還義務はございませんが、エリート奨学金を受給された方には、将来プロとなられ賞金を獲得されるようになった折には、次世代のジュニア育成のために、当財団へのご寄付の形で還元をお願いできればと思っております。</p>
奨学生の人数について	<p>奨学事業の予算範囲内で毎年若干の違いはありますが、学生（小学校・中学校・高校・大学） 卒・指導者卒における人数枠は設けておりません。 2021年度は、高校生10名、大学生8名、大学院生1名の合計19名に給与いたしました。</p>
申請者について	<p>2019年度247名、2020年度197名、2021年度275名の申請をいただき受理しております。</p>
給与期間に生じる義務について	<p>年間2回（前期・後期）の活動報告書を提出していただきます。</p>
休学した場合の対応は	<p>休学した場合、奨学金は休止となります。但し、同一年度に復学した場合は、復学した月より支払いが行なわれます。</p>
審査はどのように行われるか	<p>財団の審査委員会にて厳正な審査を行います。</p>
審査決定の連絡について	<p>決定後、合否に係わらずご本人と在学学校へ郵送にて連絡いたします。</p>